

辰野町議会第4回議会報告会の概要

実施期日 平成25年5月24日（土）午後6時30分から午後8時

実施場所 辰野町役場第6会議室

出席者 町民62名、議員13名、合計75名

司会進行 船木議会運営委員長

(1) 開会あいさつ 宮下副議長

(2) 主催者あいさつ 篠平議長

(3) 12月・3月定例議会等、活動報告

①総務産業常任委員会 定例会審議状況・活動報告 報告者 中谷委員長

②福祉教育常任委員会 定例会審議状況・活動報告 報告者 三堀委員長

(4) 報告についての質問

質問【1】

福祉教育常任委員会の委員会視察に関して、病院視察の目的は何か。そこで何を学び、その成果を今後どのように町の施策に生かしていくのか。

回答

■中谷総務委員長答弁

当時の福祉教育委員会の副委員長として答弁します。辰野病院では、公営企業法完全適用が計画されているので、すでに実施されている病院の運営実態と、市町村合併したなかでの病院経営の状況について調査することが目的でした。現地での調査結果を今後の辰野病院の経営改善にいかしていきたい。

質問【2】

国民健康保険制度の運営は厳しい現状であり、国の状況も厳しい中で、国庫補助を増やすことは難しいことかと思うが、これからの運営について議会としてはどのように考えているか。

回 答

■根橋議員答弁

議会としては、先ほどの説明どおり、国に対して国庫負担を増やすことを要望していますが、町として今後どのように運営していくのかについては、まだ踏み込んだ議論をしておりません。今後大きな問題となってきますが、大きな方向は広域化となっています。これらについては、これから議論していきたいと考えています。

(5) 意見交換

①道路問題について（国・県道）

■中谷委員長

道路問題を取り上げた理由として、道路問題への取り組みが地形や環境などにより遅れてしまい、道路事情が悪化していることから、議会のなかでもなんとかしなくてはならないという思いが強くなったので今回のテーマになっていることを述べました。その後、資料に基づき説明しました。

意 見【1】

今回、道路問題についてこのような形で提示したことはよかったと思います。今まで、各地区の期成同盟会まかせのような形で進んできたため、辰野町の道路行政は大変停滞しているように感じています。バイパス問題は特にその先例であり、このような町は他にないと思います。これは、町自体に基本プランがないからだと思います。地域まかせになると、現道の改修などが中心になってしまい、基本プランは後回しになってしまう。現状の取り組みは、現道改修が主で、これでは、国道やバイパス問題は永遠に解決しないと思います。

議会としても是非よく勉強して、地域住民とも協力してバイパス問題を早く進めるよう力をいれてやっていただきたい。

回 答

■議長答弁

ご意見を伺って、常任委員会で検討し、その都度町に提案していきたい。過去には、バブルのころ岡谷市に抜ける東山開発や羽北で、広域農道を拡幅して宮所まで繋げる計画もありましたが、費用や時間の問題で現実に至っていません。今後町に積極的に提案していきたいと思っています。

意 見【2】

羽北地区の道路の現状は、伊北インター周辺でさまざまな問題が起きています。議会として、それぞれの時間帯で視察し、現状の理解をお願いしたい。

回 答

■中谷委員長答弁

委員会として研究会を持ち、町内の現状を把握して議論してきました。次の機会にご指摘の箇所や先進地を視察するよう計画を立てていきます。

意 見【3】

今後、伊那地区も人口が減少していくことが予測され、道路を新設すると維持費の負担が重くなることが懸念されます。今ある道路を活用できないかという観点から、天竜川の管理道路を活用する方法を是非考えていただきたい。

回 答

■中谷委員長答弁

過去に検討した経過がありますが、管理道路を車が通行できる道路に拡幅するには多額の費用がかかることなどで実現が困難でありました。今後の検討課題としていきたいと思えます。

回 答

■篠平議長答弁

町でも過去、国に話をしたことがあります。現在辰野中学校付近の天竜川の管理道路については、国から借りて町が管理する形で利用しています。今後、町が積極的に国に働きかけていくことも熱意の問題だと思います。ただし、管理経費は町の負担になりますが、今後さらに働きかけていきたいと思っています。

意 見【4】

下辰野の松尾峡から衛生センターまでの町道4号線について、現状は砂利を敷いてもドロドロの状況で危険な道路です。今後続けるのか、廃止するのか今後の対応についての考えをお聞きしたい。

回 答

■司会（船木委員長）答弁

これから勉強させていただくことでご了承いただきたい。

②福寿苑を含む旧辰野病院の後利用について

■三堀委員長

資料に基づき説明し、宮下副議長が地元議員として経過等について補足説明をしました。

意 見【5】

5、6年前のワークショップで、病院移転に関しては、福寿苑は残して、西病棟は厨房を含めて残すということでした。耐震性の無い病棟は更地にして地権者に戻すということを前提に議論した経過があります。いつごろから福寿苑を平成会に移管し、西病棟を活用するという話に変わったのか。

回 答

■岩田議員

当時ワークショップに参加していましたが、事実関係はただいまのご意見通りかと思えます。政策は変わっていくことも必要ですが、情報を公開して皆さんに知らせ、意見を取り上げていくことが必要だと思えます。こうした経過について、町が説明を十分にしていないので、議会がもっと追究して、皆さんにわかるようにするのが議会の役目だと考えています。今後議会がどのように関与していくことができるか、地権者の方々とも意見交換をして、議員として何ができるか対応を考えていきます。

意 見【6】

病院跡地に関して、伊那中央病院跡地には社会福祉協議会が中心となって福祉ゾーンができています。伊那市民の皆さんは、そこへいろいろな相談ごとで頼っていける場所になっています。南箕輪村の老人ホーム周辺も同様な状況です。辰野病院跡地についてそのような場所にならないかと思えます。宮木駅周辺が福祉ゾーンということですが、建物がいくつかあるというだけのような気がします。皆が心を寄せることができる福祉ゾーンにしていきたい。

回 答

■司会（船木委員長）答弁

ぬくもりの里のあるところが行政としては福祉ゾーンととらえています。ご意見をもとに、今後勉強をして、町へ提言をしていきたいと思えます。

意 見【7】

前回の議会で、陳情を出した時に陳情者が説明をする場を与えていただきたいと思えます。文章にすることは難しく、陳情の意をくみ取っていただけるかどうか不安ですので説明の場を与えてください。

回 答

■司会（船木委員長）答弁

規定にも拒むものではないと定めてありますので、申し出があれば検討します。

以上で、意見・要望は終了

(6) 閉会あいさつ 宮下副議長